



## しらべる用

# 色 の 名 前 や の 意 味



### 赤

赤は人間が感じる基本となる色のひとつであり、人類が遥か遠い昔から使っていた色でもある。火や血の色を連想させ、熱を感じ力強く、気持ちが高揚する色で目立つため、様々なところで使われる。

[赤系の色の名前いろいろ] → ■くれなゐ ■ローズレッド ■スカーレット ■ひいろ ■しゅいろ ■ワインレッド ■きんあか



### ピンク

赤を白で薄めていったとき、表れる色。赤の強い印象が弱まり、華やかながら柔らかく、優美で女性的な印象を感じることができる。日本では桜の花の色としてなじみが深い。

[ピンク系の色の名前いろいろ] → ■さくらいろ ■ベビーピンク ■ときいろ ■サーモンピンク ■コーラル・ピンク ■ももいろ ■ローズピンク



### オレンジ (橙)

赤と黄色のあいだに位置する色。名前の通りオレンジなどの果実を連想することができる。赤と同様、太陽を感じる色でもあるため元気・明るいイメージを感じる、前向きな色であるといえる。

[オレンジ系の色の名前いろいろ] → ■あんずいろ ■そひ ■かきいろ ■クローム・オレンジ ■だいだいろ ■みかんいろ ■きつねいろ



### 茶色

オレンジが暗くなり、濁ると茶系の色となっていく。少し暗いイメージだが、土の色、木の色、動物の毛皮などをはじめ、食事の際にも多く目にすることができる色であり、ありふれた日常的な色といえる。

[茶系の色の名前いろいろ] → ■くるみいろ ■ハイゼル ■コルクいろ ■キャラメル ■かつしょく ■くりいろ ■こげちゃ



### 黄色

黄色も人間が感じる主要となる色のひとつである。特に明るく、輝かしい色なので欧米においては太陽の象徴であることが多い。ただし、暗く濁ると印象が劇的に変わり、嫌われやすい色となる。

[黄色系の色の名前いろいろ] → ■レモンいろ ■タンポポいろ ■クローム・イエロー ■やまぶきいろ ■うこんいろ ■なたねゆいろ ■おうどいろ



### 緑色

緑は言葉自体に「新鮮な」「若さ」という意味や「生命の成長・再生」という感情が含まれている。ただし、常夏の国ではそういった感情はない。ただ日本では自然を感じ、心が落ち着く色であることは間違いないだろう。

[緑系の色の名前いろいろ] → ■あさみどり ■グラス・グリーン ■ターコイズ・グリーン ■エメラルド・グリーン ■ふかみどり ■ろくしょう



### 青

赤や緑とともに人間が感じる基本となる色のひとつである。また、全人類に最も好まれやすいとされている色でもある。空や海、美しい宝石などにより、神秘的な感情と、寒さや冷たさのイメージがある色である。

[青系の色の名前いろいろ] → ■みずいろ ■そらいろ ■アクアマリン ■あざぎいろ ■セルリアン・ブルー ■コバルト・ブルー ■あいいろ



### 紫

古来より作り出すのが難しい色とされており、そのため、日本でも西洋でも高貴な身分の人物が身につける、特権的な色であった。現在ではやや日常的ではない色として認識されている。

[紫系の色の名前いろいろ] → ■ふじいろ ■わかむらさき ■しょうぶいろ ■すみれいろ ■えどむらさき ■ロイヤル・パープル ■ピアノー